

佐賀労働局発表
令和5年11月29日



【照会先】

佐賀労働局 労働基準部健康安全課

健康安全課長 貞木 竜成

地方産業安全専門官 小宮 隆寛

電話 0952 (32) 7176 (直通)

令和5年度における 年末年始の労働災害防止活動の取組について

佐賀労働局（局長 重河真弓）は、年末年始の慌ただしくなるこの時季、年末年始特有の業務の増大、年末の大掃除や機械設備の保守点検、突発的な作業などの非定常時作業が、通常作業に加えて多くなり、労働災害発生のリスクが高くなることから、県内のすべての労働者が健康で労働災害のない年末年始を迎えられるよう、労働災害防止活動の一層の推進を広く呼びかけます。

1 労働災害の発生状況等

- 令和5年（1～10月）の佐賀県内における休業4日以上^{（新型コロナウイルスによるり患を除く、以下同じ）}の死傷者数（速報値）で962人（前年同期比+20人、+2.1%）、死亡者数は7人（前年同期比+3人）である。
- 全業種において最も多い事故の型は、「転倒」が245人（25.5%）、次いで「動作の反動・無理な動作」が162人（16.8%）「墜落・転落」が156人（16.2%）となっており、これら3種で全体の58.5%を占めている。
- 被災者の年齢別をみると、60歳以上が328人で全体の34.1%を占め、50歳以上が571人で全体の59.4%を占めている。
- 被災者の経験年数をみると、5年以下が498人で全体の51.8%を占めている。

2 取組内容

- 労働災害防止団体、事業者団体への会員事業場における年末年始における労働災害防止に向けた取組についての要請
- スローガン入りポスター（サンプル）のフォーマットの提供、及びポスター掲示の依頼
- 佐賀労働局及び県内の労働基準監督署に年末年始無災害運動の垂れ幕、のぼりを掲げ、来庁者等に取組を広く呼びかける

別添資料

- 資料1 「令和5年度 年末年始における労働災害防止に向けた取組について」（要請）
- 資料2 「佐賀県内の労働災害発生状況 令和5年10月末」（新型コロナウイルスによるり患を除く）
- 資料3 「年末年始無災害運動のスローガン入りポスター（サンプル）のフォーマット」

佐労発基 1115 第 2 号
令和 5 年 11 月 15 日

別記 関係団体の長 殿

佐賀労働局長

年末年始における労働災害防止に向けた取組について（要請）

労働行政の推進につきましては、平素より格別のご理解ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

佐賀労働局におきましては、第 14 次労働災害防止計画（計画期間：令和 5 年 4 月 1 日～令和 10 年 3 月 31 日）に基づき、各種安全衛生活動に取り組む事業場の増加を図るほか、労働災害が増加傾向にある業種を重点業種として集中的な取組を行うなど、労働災害の減少に向けた各種施策を推進しているところです。

しかしながら、当局管内の令和 5 年における労働災害の発生状況は、10 月末現在の速報値において、休業 4 日以上（コロナウイルスによるり患を除く）の死傷者数は 962 人（前年同期比 20 人、2.1%増加）、死亡者数は 7 人（前年同期比 3 人増）と労働災害件数が前年同期より増加したほか、死亡災害が大幅に増加しており大変憂慮すべき事態になっています。

このような状況から、さらなる労働災害防止の取組が求められており、特に年末年始はこの時期特有の業務の増大、年末の大掃除や機械設備の保守点検、突発的な作業などの非定常時作業が多くなることから、転倒、墜落・転落等による労働災害のリスクが大きくなることが危惧されています。

災害ゼロを目指して労働災害防止の取組を徹底していくため、別紙の「令和 5 年度 年末年始における労働災害防止に向けた取組」を効果的に展開されますよう要請いたします。

貴団体におかれましては、本取組の趣旨についてご理解をいただき、傘下の会員事業者に対し取組の周知にご協力いただきますようお願い申し上げます。

(別記)

一般社団法人 佐賀県労働基準協会

建設業労働災害防止協会 佐賀県支部

陸上貨物運送事業労働災害防止協会 佐賀県支部

林業・木材製造業労働災害防止協会 佐賀県支部

佐賀県石材工業協同組合

佐賀県建設労働組合連合会

佐賀県鳶土工工事業連合会

公益社団法人建設荷役車両安全技術協会 佐賀県支部

佐賀県商工会議所連合会

佐賀県商工会連合会

佐賀県中小企業団体中央会

令和5年度 年末年始における労働災害防止に向けた取組

1 安全衛生管理体制に関する事項

- ① 経営トップによる安全衛生方針の決意表明と安全衛生パトロール等の実施
- ② 安全管理者、衛生管理者、産業医、安全衛生推進者等の選任と職務の確実な遂行
- ③ 5S（整理・整頓・清掃・清潔・しつけ）活動、KY（危険予知）活動、リスクアセスメントの取組などの自主的安全衛生管理活動の促進

2 労働災害防止対策に関する事項

- ① 転倒災害防止対策の実施、点検・確認
- ② 墜落・転落災害防止対策の実施、点検・確認
- ③ 「高年齢労働者の安全と健康確保のガイドライン」（エイジフレンドリーガイドライン）に基づく、安全衛生教育及び安全・健康に配慮した職場環境の改善
- ④ 職場内の各種機械設備の点検と作業手順書、作業マニュアル等の理解・順守徹底
- ⑤ 機械による「はさまれ・巻き込まれ」等の災害防止対策、作業開始前点検の実施
- ⑥ 腰痛予防対策の実施
- ⑦ 安全保護具・労働衛生保護具、安全標識・表示等の点検整備
- ⑧ 交通労働災害防止対策の実施
- ⑨ 火気の点検・確認など火気管理の徹底

3 健康確保対策に関する事項

- ① 新型コロナウイルス感染症、インフルエンザ等の感染症予防対策の実施
- ② 健康診断の確実な実施及びその結果に基づく適切な事後措置の徹底
- ③ メンタルヘルスケアの積極的な推進
- ④ 過重労働防止のための職場環境づくり

4 その他の事項

- ① ポスター^{注1}の掲示、「見える化」^{注2}を図った安全衛生活動の促進
- ② スローガン^{注3}を掲げての労働災害防止活動の推進等

(注1) 佐賀労働局 HP (https://jsite.mhlw.go.jp/saga-roudoukyoku/newpage_00639.html) からポスター（サンプル）のフォーマットの利用可（参考）

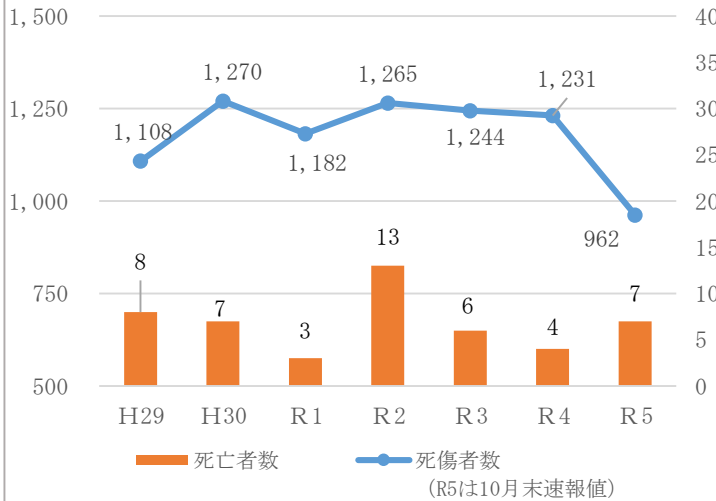
QRコード⇒



(注2) 視覚的に捉えられないものを可視化（見える化）して安全衛生意識を高める取組

(注3) 【参考】中央労働災害防止協会 令和5年度年末年始無災害運動標語
『健康と安全で 幸せつなぐ年末年始』

労働災害発生状況

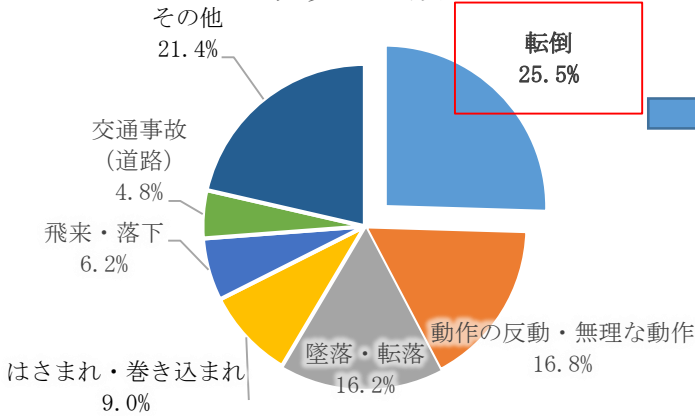


労働災害の10月末の発生状況は、休業4日以上^の死傷災害が962人（コロナを除く件数）、死亡災害は7人（前年同期4人）となっています。

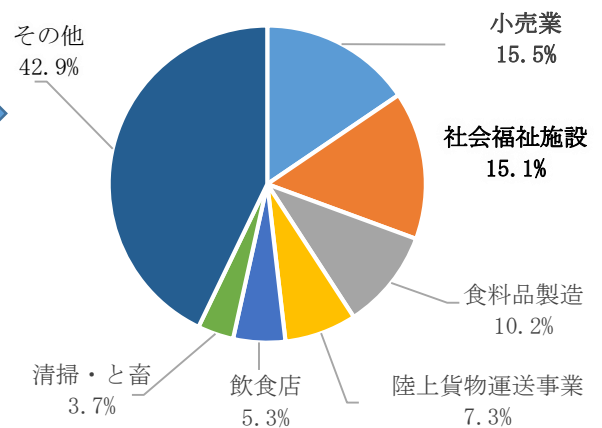
【死亡災害事例】

- 3月 建設業 道路工事終了し片付け中、乗用車に激突された
- 3月 製造業 立旋盤の構造部材と点検用足場に挟まれた
- 5月 建設業 横転したドラグショベルと地面に挟まれた
- 6月 製造業 攪拌機内各藩羽根に引っかかった状態で発見された（酸素欠乏症疑い）
- 8月 建設業 単独で、トラクターショベルにてダンプに砂を積み込み中、ダンプとトラクターショベルに挟まれた状態で発見された
- 9月 建設業 刈払機を使用し、水路付近で除草を行っていたが、水路内でうつ伏せ状態で発見された
- 9月 製造業 事業場敷地内で、フォークリフトにはねられた

事故の型別



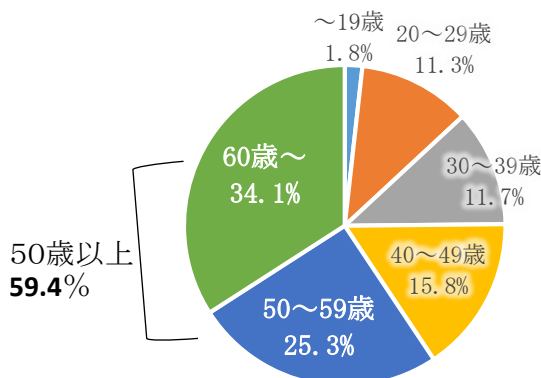
転倒災害の業種別（中分類）



事故の型別で見ると転倒災害が245人（25.5%）で最も多く、次いで動作の反動・無理の動作（腰痛等）が162人（16.8%）、墜落・転落災害が156人（16.2%）の順となっている。（コロナウィルス感染症によるものを除く。以下同じ。）

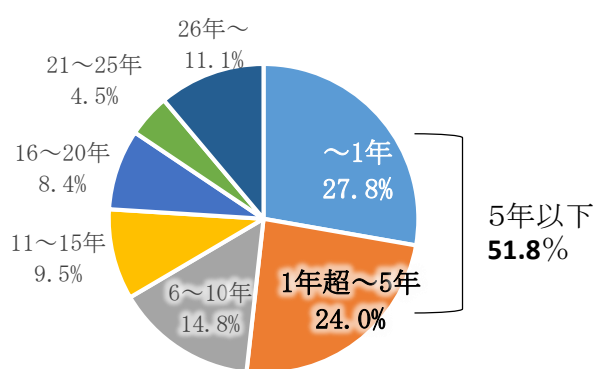
転倒災害を業種（中分類）で見ると、小売業が38人（15.5%）と最も多く、次いで社会福祉施設が37人（15.1%）となっており、この2業種で全体の約3分の1を占めている。

被災者の年齢別



年齢別では、60歳～が328人（34.1%）と最も多く、次いで50歳代が243人（25.3%）であり、50歳以上が59.4%を占めている。

被災者の経験年数別



経験年数別では、～1年が267（27.8%）人と最も多く、次いで1年超～5年以下が231人（24.0%）となっており、5年以下が51.8%を占めている。

年末年始無災害運動

この枠内に企業独自の「スローガン」を入力してご使用下さい。



企業名等

年末年始無災害運動



この枠内に企業独自の「スローガン」を入力してご使用下さい。



企業名等

写真提供：一般社団法人佐賀県観光連盟

年末年始無災害運動

『この枠内に企業独自の「スローガン」を入力してご使用下さい。』

企業名等

写真提供：一般社団法人佐賀県観光連盟



年末年始無災害運動

この枠内に企業独自の「スローガン」を入力してご使用下さい。



企業名等

年末年始無災害運動



この枠内に企業独自の「スローガン」を入力してご使用下さい。



企業名等

写真提供：一般社団法人佐賀県観光連盟